



第5回SS研大規模SMP運用WG資料

添付資料14-1

実行中ジョブの制限値変更について (検討結果)

2006年2月17日

富士通株式会社

Linuxソフトウェア開発統括部

1

実行中ジョブの制限値変更

実行中ジョブに対するジョブ制限値の変更機能として、下記の
qmodifyコマンドを提供予定です。

- 記述形式

qmodify [-u ユーザー名] cp 経過時間 -IT CPU時間 リクエスト識別子

- 機能概要

qmodify は、指定されたリクエスト識別子に対応するバッチリクエストの制限値
であり、原則としてバッチリクエストの所有者だけが変更可能です。

例外として、システム管理者、NQS マネージャー/オペレータは、自らが投入して
いないバッチリクエストでも制限値の変更可能です。

資源	変更可能な リクエストの状態	変更可能な制限値の範囲		対応コンボ
		リクエストの所有者	管理者	
-cp (経過時間)	QUEUED, WAITING, HOLDING, RUNNING, RUNNING*	変更前の値 ~ キューの値 (増加のみ可能)	0 ~ 2147483647秒 (増減可能、キューの最 大を超える)	NQS
-IT (CPU 時間)				NQS, NQS-JS, 資 源管理,CPU資源 管理